

匿しつゝ進める時如何にしけん、燈は忽ち消れて、黑白
 を辨たず、如何にせんと途方に暮れて居たりと見れば、遙
 か彼方に聖母の聖像ありて、其前に一のランプの懸れり、
 是屈強と、一人の少年は進みて、之を取らんとすれば、ラ
 ンプは忽ち消れて恰も彼等の悪行を悪むものゝ如し、止な
 く他の一少年の許に來りて顧みれば、聖像の前なるランプ
 は復輝きて前の如し、彼再び之を取らんとして其前に到れ
 ば、不思議やランプは又消ゆること前の如し、斯の如くす
 ること再三に及びたり。彼等は竟に是聖母が外に燈を消

して、内に己等の心を照し給ふことを覺り、忽ち前非を悔
 み、心を改めて善良なる人となりしと云ふ。

祈 願

我等今より日々怠らず、天主の聖母たり、我等の母たる聖マ
 リアを愛し奉り、且其聖徳に倣ひて、一心に天主の誠を守
 り、聖母の孝子となり、忠僕とならんと決心し奉る。

三十一日 聖マリアは諸徳の鑑なり、

「汝等天父の完全に在す如く、汝等も亦完全なれ」(マテオ五

章四十八節)とは是吾主耶蘇の我等に命じ給ふ所にして、天
 父の聖徳に倣ひ奉るは、キリスト信者の必ず爲さるべか
 らざる要義なり、天主は至て善なる者にて在すなり、我等は
 力を盡して此に似ることを努めざるべからず、然れど天主と
 人との中間限りなきの懸隔あれば、天主は我等をして、倣ひ
 易からしめん爲、聖子をして人性を受けて人とならしめ給ひ
 たり、故に耶蘇キリストは曰く、「我が汝等に例を示したる
 は、我が汝等に爲し、如く汝等にも爲さしめんが爲なり」と
 (ヨハネ福音十三章十五節) 斯の如く耶蘇は我等と同じき人

性を備へ給へども、固より神經を有ら給ふ天主の御子なれば
 我等の之に接近さ奉ることは又容易なる事にあらざるなり、
 故に天主は我等に聖マリアを賜はりたり。天主を除き奉り
 て、聖母の如く諸徳の完全なる鑑と爲し奉るべき者は、天
 にも地にもあることなし。茲に注意すべきは、聖母を諸徳の
 模範とし奉るに於て、他の聖人と大に異なる所あることな
 り、則ち他の聖人等の徳は、各自相異りて特別なる點あり、
 例之某は潔白の徳に長じ、某は柔和の徳に優れ、某は
 謙遜を以て勝り、某は忍耐に依りて名を得たりと云ふが如

し、獨聖母は則ち然らず、一切の徳に於て他の聖人に優れ給ひたり。又貴賤、貧富、老幼、男女の別なく如何なる者も聖母を徳の鑑と仰ぎ奉ることを得るなり、故に聖公會は、我等に聖母を示して云ふ、見よ汝の思念、言語、行爲の完全なる模範として、倣ふべきものは此にあり、天主が汝に示し給へる鑑を見よ、汝之に倣ひて行ふべしと、然らば我等が如何なる身分、如何なる境遇にあるも常に聖母を鑑として善を行ひ、徳を修むることを努めざるべからず。

實話

聖ドミニコのローマに於て説教せし時、カタリナと云へる一婦人あり、ロザリオの事を聞き、自ら願ふて、會員となり、入會の當日より直にロザリオを唱へ始め、且屢次聖體をも拜領り居たり、然れども其行を改むることを爲さずして、唯此世の虚飾、娛樂を好み、舞蹈等の危険き遊戯に耽りたり、聖ドミニコは彼を誡め其行の天主と聖母との御心に愜はざること再三諭し、聖母に對する眞實なる信心とは、其聖徳に倣ふことなりと教へたれども更に其甲斐なかりしが、天主は不思議を顯はし彼の心を照し給ひたり、

一日彼女食卓に就きけるに、喫んとする食物は何を取るも
 悉く鮮血に染りたるものなり、彼不思議の思ひを爲せる
 時、聲ありて曰く、汝が今見る所は、是汝が日々に行ふ所
 なり、汝は世間の快樂と我血とを混合す、汝は穢れし心を
 以て聖體を拜領し、罪惡を以て我母に不敬を爲しながらも、
 唯口ザリオ會員に加はるのみを以て彼を尊敬するものと思
 ふ、汝速に心を悔め、今日に至るまで我母に對して爲せ
 し不敬の罪を悔い、今より我母の徳に倣ひて善を行ふべし
 と。カタリナ之を聞き、驚くこと一方ならず、大に前非を

悔い、直に聖ドミニコの許に到り、足下に伏して告白を爲
 し、遂に修院に入り、聖母の行を鑑として徳を修め、聖
 女たるに耻ざる終を遂げしと云ふ。

祈願

諸徳の鑑なる聖母、我等の眞心より汝に奉る尊敬を嘉納し
 給へ、我等をして汝の徳に背り、キリスト信者の完徳を修め
 しめ給へ、我等天主の恩恵に依り、聖マリアの月を尊み、祝
 ふことを得たり願くは聖母の御助力を以て永く此の効果を失
 はざらしめ給はんことを。

(大尾)

五〇ノ二	三四ノ八	三二ノ四	二二ノ四	一九ノ五	一三ノ七	五ノ五	頁 行
------	------	------	------	------	------	-----	-----

正 譎

彼惡人 <small>かれあくにん</small>	ヤコブ家	大 <small>おほい</small>	伎倆 <small>ぎりやう</small>	功 <small>こう</small>	彼 <small>かれ</small>	誦ふべし。
---------------------------	------	----------------------	------------------------	---------------------	---------------------	-------

彼の惡人 <small>かれあくにん</small>	ヤコブの家	大 <small>おほい</small>	伎倆 <small>ぎりやう</small>	功 <small>こう</small>	彼 <small>かれ</small>	誦ふべしと。	正
----------------------------	-------	----------------------	------------------------	---------------------	---------------------	--------	---



六五ノ三

聖母せいぼに其最いそも

九五ノ三

仇敵かたき

同ノ五

愜かなひ

一〇三ノ二

交まじり随まひて

一〇七ノ六

聖櫃せいぐい

聖母せいぼに倣ならひ其最いそも

仇敵かたき

愜かなひ

交まじるに随まひて

聖櫃せいぐい

明治四拾四年四月廿八日印刷
明治四拾四年五月一日出版

大阪市北區富島町五十八番地

著作兼發行者 天主教會

代表者 永田辰之助

大阪市東區左官町五二四番地

印刷者 杉山國司

同所

印刷所 聖若瑟教育院活版部

266

137

MD